

第1回「ドライブレコーダデータベース検討会」

議事概要

1. 日時：平成21年12月16日（水）16:30～18:30

2. 場所：主婦会館プラザエフ 3階コスモス

3. 出席者

鎌田委員、永井委員、岩越委員、四倉委員、小野委員、山崎委員、吉田委員、清水委員、竹井委員、鯨井委員、園委員、山田谷委員、大江委員、大森委員、島委員

4. 座長の選出

鎌田委員が選出された。

5. 議事

事務局より以下の資料説明を行った。

- ・ドライブレコーダデータベース検討会開催要領（案）について、開催目的、検討事項、開催回数等を説明し、併せて今年度の調査内容を説明した。
- ・ヒアリング調査については、ヒアリング対象をドライブレコーダ利用企業・団体、データ分析・活用機関、損害保険協会・企業、ドライブレコーダメーカー、事故紛争処理機関とし、それぞれのヒアリング項目について説明した。
- ・アンケート調査については、アンケート対象をタクシー・バス・トラック運送の各事業者、および損害保険企業に配布することとし、事業者用、損害保険企業用のアンケート調査票（案）について説明した。

各委員の主な発言内容は以下のとおり。

①ドライブレコーダデータベース検討会開催要領（案）について

- ・映像が撮れるものを全てドライブレコーダと呼んでいいのか、ドライブレコーダの定義を明確にした方がよい。
- ・事故分析を行う上で EDR（イベントデータレコーダ）のデータは有効であるといわれているが、今回の検討では EDR は除くのか。
→ 現時点では映像記録型のドライブレコーダを対象としたいと考えている。

②アンケート・ヒアリング調査について

- ・データベース化する際、映像だけではなく、多くのデータ項目を入力しなければならないため、データベース化には多額の費用がかかると予想される。

- ・ アンケート調査票の利用したいデータ項目について、ドライブレコーダの保存データ項目しか選択肢にないため、個人属性や交通事故を起こした際の状況等の項目も選択肢に追加した方がよい。
- ・ 現在、ドライブレコーダのデータを活用している企業は少ないのではないだろうか。
- ・ 課題を訊ねるのではなく、課題を解決できればこのような使い方があるといった、前向きな意見を収集したほうが今後の議論の材料になりやすい。

以上の各委員の意見を踏まえることで、開催要領、ヒアリング・アンケート調査についての了解が得られた。

今後、ヒアリング・アンケート調査を実施し、調査結果を踏まえデータベースの利用方法、仕様、管理体制・方法等を検討した上、3月上旬に第2回の検討会を実施することとする。

以上